

1. 北広島市都市計画マスタープラン市民意向

北広島市都市計画マスタープラン策定にあたり、多くの方法で市民意向を把握しました。

1. 市民都市づくりアンケート（記述式）

平成13年4月～5月 329名（意見数は約4,000）

各種団体、学校関係に協力を依頼するとともに広報紙、ホームページなどで公募。

2. 市民ワークショップ会議

メンバーを広報紙、ホームページなどで公募。

全体構想ワークショップ会議

第1回	平成13年8月3日	「北広島市の良いところ悪いところ」	参加者 26名
第2回	平成13年8月29日	「将来の魅力的な北広島市を考える」	参加者 26名
第3回	平成14年1月25日	「全体構想事務局素案の評価」	参加者 14名 延べ 66名

地域別構想ワークショップ会議

第1回	平成14年5月19日～26日	「私たちの地域はこんなまち」	参加者 51名
第2回	平成14年7月4日～12日	「地域の将来像パート1」	参加者 56名
第3回	平成14年8月22日～29日	「地域の将来像パート2」	参加者 56名
第4回	平成14年10月26日	「まちづくり構想住民提案の発表と意見交換」	参加者 41名 延べ 204名

（その他、中間取りまとめや企画運営などの打合せも実施）

3. 都市計画マスタープラン策定委員会

学識経験者、各種団体、公募を含む市民 計16名（広報紙、ホームページなどで公募）

第1回	平成14年2月18日	都市計画マスタープランの説明
第2回	平成14年4月10日	都市計画マスタープラン全体構想素案の検討
第3回	平成14年7月17日	〃
第4回	平成14年9月10日	〃
第5回	平成14年10月17日	〃
第6回	平成14年11月29日	〃
第7回	平成15年2月20日	都市計画マスタープラン全体構想委員会素案の検討
第8回	平成15年5月29日	都市計画マスタープラン地域別構想素案の検討
第9回	平成15年7月10日	〃
第10回	平成16年3月2日	都市計画マスタープラン素案の説明・審議

4. リーフレット、広報紙、ホームページなどによる意見募集

・全体構想素案の概要についてのリーフレットを平成15年4月1日の広報紙に折込み、全戸配布。添付したはがきにより意見を寄せてもらう。意見提出者数56名

・地域別構想素案の概要を平成15年10月1日の広報紙に掲載し、意見を募集。

意見提出者数19名

2 . 全体構想に関する市民意向

市民アンケート及び全体構想市民ワークショップ会議における意見を都市計画マスタープランの構成にあわせ、分野別に集約（同じような意見について1次的な包括）しました。

1 . 土地利用の基本方針

市民アンケートより

- ・ のびのびとできる、広々とした市街地を残してほしい
- ・ それぞれの地域の個性や機能をのばし、特徴のある市街地にしてほしい
- ・ 核となる市街地を中心に市街地ごとのつながりを強めてほしい
- ・ 中心部を充実させ、住み良いまちにしてほしい
- ・ さまざまな機能がそろい、バランスのとれたまちにしてほしい
- ・ 住・商・工を混在させないまちづくりを進めてほしい
- ・ 住宅地の中にも、ある程度の商業施設をつくってほしい
- ・ 住み心地の良さを大切にしてほしい
- ・ 安心して、落ち着いて暮らせる環境にしたい
- ・ ガーデニングや家庭菜園などにより住宅地の緑化を進めたい
- ・ 庭の広いゆとりのある戸建て住宅が良い
- ・ 容積率を緩和してほしい
- ・ 面的な整備により新しい住宅地を整備してほしい
- ・ 若い人が住みたくなるような賃貸住宅を増やしてほしい
- ・ 高齢者用、障害者用の住宅を便利なところに建ててほしい
- ・ 住宅地の中に公園や森を増やしてほしい
- ・ 騒音がなく、静かな環境が良い
- ・ 駅周辺に店を増やし活性化してほしい
- ・ 駅周辺の空き地を有効に活用してほしい
- ・ 商業地を活性化してほしい
- ・ 商店街を充実してほしい
- ・ 商店が点在し、散策ができるまちにしてほしい
- ・ コンビニ、スーパーなど店舗をふやしてほしい
- ・ 若者向けの店づくりをしてほしい
- ・ 利用しやすい店づくりをしてほしい
- ・ 飲食店を充実してほしい
- ・ 専門店を充実してほしい
- ・ 大型店を充実してほしい
- ・ 娯楽施設を充実してほしい
- ・ 必要以上の娯楽施設はいらない
- ・ ホテル、旅館などの宿泊施設を充実してほしい
- ・ 会話のある店がほしい
- ・ おしゃれな店がほしい
- ・ 家の近くで買い物できる店がほしい
- ・ 買い物に便利な暮らしが良い
- ・ 品揃えを充実してほしい
- ・ 物価を安く、安定してほしい
- ・ 愛想良くしてほしい
- ・ 企業を集積化させてほしい
- ・ 企業立地を促進してほしい

(市民アンケートより) 土地利用つづき

- ・工業団地を活用し、雇用の場を確保してほしい
- ・産業的な工業を増やしてほしい
- ・高齢者、主婦が働く場を増やしてほしい
- ・若者に魅力のある雇用の場を増やしてほしい
- ・働きやすい職場環境にしてほしい
- ・職住近接など通勤しやすいのが良い
- ・地元で流通を良くしたい
- ・家族で楽しめる市民農園として利用したい
- ・近くにある牧場を残したい
- ・農産物のPRをしていきたい
- ・安価で良質な食材が手にはいるようにしてほしい
- ・取得しやすい地価にしてほしい

市民ワークショップ会議より

- ・1つの市としての統一感を創出する
- ・地域ごとの個性を鮮明にする
- ・各地域のネットワークを強化する
- ・自然の中のゆったりとした住宅地にする
- ・高齢者になっても安心して暮らせる住宅地にする
- ・複合化、大型化、再開発を進める
- ・サービスの良い身近な店舗を育てる
- ・雇用の場を増やす
- ・地場の特産品をつくる
- ・地場産品を地元で入手できるようにする
- ・地場産品のPRをする

2. 都市交通体系の基本方針

市民アンケートより

- ・駅前を含めた駅舎の充実してほしい
- ・JRを便利にしてほしい
- ・JRの高架化を進めてほしい
- ・バスの運行数を充実してほしい
- ・バスの便を充実してほしい
- ・市内循環バスを導入してほしい
- ・バス料金を見直してほしい
- ・地下鉄を開通してほしい
- ・地下鉄への便利を良くしてほしい
- ・交通網を充実してほしい
- ・交通の便を充実してほしい
- ・通勤、通学の便を良くしてほしい
- ・移動手段が選択できるようにしてほしい
- ・交通費を低減してほしい
- ・駐車場を充実してほしい

(市民アンケートより) 都市交通つづき

- ・インターチェンジを増やしてほしい
- ・通過車両を排除して、安全なまちにしてほしい
- ・計画的に道路を整備してほしい
- ・道路を整備し、良くしてほしい
- ・道路を拡幅、延伸して、渋滞を減らしてほしい
- ・緑、音楽などで特徴を出してほしい
- ・広くて段差のない歩道の整備や休めるベンチを設置してほしい
- ・周辺の都市を含めたサイクリングロードを延ばしてほしい
- ・市内の各地域をサイクリングロードで結んでほしい
- ・自転車に乗れるところを増やし、公園や図書館などを結んでほしい
- ・自転車置き場を増やしてほしい
- ・街灯を明るくして、事故や犯罪のないまちにしたい
- ・事件や事故を少なくして、治安のよいまちにほしい
- ・横断歩道や信号などが整備され、交通事故が少ないまちにしたい
- ・危険が少なく、子どもから高齢者まで安全に生活できるまちにしたい

市民ワークショップ会議より

- ・交通量を分散させる
- ・地域間を結ぶ環状道路をつくる
- ・環境にやさしい公共交通機関を充実する
- ・除排雪を充実し、快適な道路にする
- ・地域間をネットワークする自転車道路をつくる

3 . 緑・水環境の基本方針

市民アンケートより

- ・子どもが自由に遊べるように公園をたくさん造ってほしい
- ・家の近くに緑がたくさんある公園がほしい
- ・市街地周辺を計画的に公園化してほしい
- ・公園と公園をつなげてほしい
- ・市民が憩える緑が多い大きな公園がほしい
- ・自然をいかした公園がほしい
- ・小動物がいて、緑や花のある公園がほしい
- ・レクの森をもっと楽しめるようにしてほしい
- ・スポーツのできる公園がほしい
- ・木の遊具のある公園がほしい
- ・散策ができる公園がほしい
- ・水があって、魚がいる親水公園がほしい
- ・魅力のある、おもしろい公園を造ってほしい
- ・子どものアイデアを取り入れた公園を造ってほしい
- ・子どもが安全に遊べる公園がほしい
- ・子どもからお年寄りまで楽しめる公園がほしい
- ・くつろげる公園がほしい
- ・冬でも遊べる公園を造ってほしい

(市民アンケートより) 緑・水環境つづき

- ・公園の整備を充実してほしい
- ・公園の手入れを充実してきれいな公園にしてほしい
- ・公園の手入れを町内会などで自主的にやりたい
- ・ルールやマナーがしっかりした公園にしたい
- ・里山のような人工的でない公園にしたい
- ・自然が豊かなまちにしたい
- ・自然が多いまちにしたい
- ・自然に囲まれ、身近に自然があるまちにしたい
- ・森や林、草原のあるまちにしたい
- ・緑が豊かなまちにしたい
- ・緑が多いまちにしたい
- ・きれいな緑と花があるまちにしたい
- ・手つかずの自然を大事に残してほしい
- ・これ以上の都市化を抑え、自然を残してほしい
- ・できる限りの自然を残しながら整備を行ってほしい
- ・豊かな森林を取り戻したい
- ・植樹運動などで自然、緑を増やしていきたい
- ・紅葉スポットなど緑の名所づくりを行いたい
- ・歩いて行ける身近な場自然を楽しみたい
- ・桜や梅の名所をつくり、花見や散策を楽しみたい
- ・森林浴や山菜取りのマップをつくり、自然を満喫したい
- ・自然や緑をいかしたまちづくりを進めたい
- ・都市と自然が調和したバランスのよいまちにしたい
- ・動物にふれ合える環境がよい
- ・鳥や昆虫の音がする環境がよい
- ・トリムコース、ハイキングコースを整備してほしい
- ・きれいな水場を残してほしい
- ・水辺で楽しめる河川整備をしてほしい
- ・河川敷に植林し、みどりの回廊にしたい
- ・きれいな水がよい
- ・きれいな空気がよい
- ・悪臭をなくしてほしい
- ・食糧自給率を高めていきたい
- ・上下水道を整備してほしい
- ・ゴミの減量化を進めてほしい
- ・生ゴミの資源化を進めてほしい
- ・ゴミの収集を充実してほしい
- ・自然や人体への影響に配慮して廃棄物処理をしてほしい
- ・リサイクルを市民に定着させ、協力して取り組みたい
- ・ゴミの少ないまちにしたい
- ・いつもきれいで衛生的なまちにしたい
- ・ゴミステーションの回りをきれいにしたい
- ・公害のない暮らしやすい環境にほしい
- ・ゴルフ場による農薬汚染をなくしてほしい
- ・自然エネルギーを活用してほしい

市民ワークショップ会議より（緑・水環境）

- ・風が感じられるまちにする
- ・工場からの公害を出さないようにする
- ・自然環境は最大限守る
- ・豊かな自然が身近にある都市にする
- ・新たな自然を育てる
- ・自然の保全と都市の開発のバランスをとる
- ・環境教育を行う
- ・ゴミのリサイクル率を高める
- ・自然をいかした冬でも遊べる公園をつくる
- ・みんなが利用しやすい大きな公園をつくる
- ・レクリエーション施設を充実する
- ・川や水を大切にすまちにする
- ・川の親水性を高め、利用する

4. 都市景観の基本方針

市民アンケートより

- ・全国に誇れる都市景観づくりを進めてほしい
- ・統一感のある街並みにしてほしい
- ・特徴的な建物によるシンボリックな景観をつくってほしい
- ・高層ビルのない街並みにしてほしい
- ・市の木、市の花など緑をいかした街並みづくりを進めたい
- ・きれいでおしゃれな街並みにしたい
- ・都会的な景観にしてほしい
- ・まちの特徴を出すデザインにしてほしい
- ・景色の案内板を取り付けてほしい
- ・建物などのデザインを工夫したい
- ・建物の色に統一性を持たせる
- ・不要な看板をなくしてほしい
- ・町並みを花でうめつくしてほしい
- ・街路樹で特色のある通りをつくってほしい
- ・坂を減らしてほしい
- ・山々など雄大な景色を楽しめるようにしてほしい
- ・山をきれいにしたい

市民ワークショップ会議より

- ・大きな施設で景観を良くしていく
- ・道路の景観を良くしていく
- ・ゴミ箱をデザインする

5. 都市防災の基本方針

市民アンケートより

- ・除雪体制を充実して冬期間でも快適に暮らせるようにしてほしい
- ・ロードヒーティングや排雪溝など除排雪を楽にしたい
- ・建物のセットバックなど除排雪がやりやすい町並みにしたい
- ・冬でも外出ができるように雪道対策をしてほしい
- ・水害のないまちにしたい
- ・雪害のないまちにしたい
- ・防災対策を十分にしてほしい
- ・ライフラインなど都市基盤を整備してほしい

市民ワークショップ会議より

- ・近隣との関係を密にして、安心して暮らせるまちにする

6. だれにもやさしい都市づくりの基本方針

市民アンケートより

- ・高齢者用、障がい者用の住宅を便利なところに建ててほしい（土地利用の再掲）
- ・広くて段差のない歩道の整備や休めるベンチを設置してほしい（都市交通体系の再掲）
- ・子どもからお年寄りまで楽しめる公園がほしい（緑・水環境の再掲）
- ・少子高齢化に対応したまちづくりを進めてほしい
- ・ノーマライゼーション、バリアフリーを進めてほしい
- ・高齢者、障がい者にやさしい環境であってほしい

市民ワークショップ会議より

- ・高齢者になっても安心して暮らせる住宅地にする（土地利用の再掲）
- ・みんなが利用しやすい大きな公園をつくる（緑・水環境の再掲）
- ・いつまでも安心して住み続けられるまちにする
- ・福祉施設、サービスを充実する

* この他、本計画で扱っていない分野の意見も数多くいただいています。これらの意見については、市役所内の関係部局に情報として提供しています。

3 . 地域別構想に関する市民意向

地域別構想市民ワークショップ会議における意見を地域別に集約（1次包括）しました。

1 . 北広島団地地区

市民ワークショップ会議より

土地利用

- ・高齢化が進んでいるので、若い人が出ていかないような、また若い人が戻ってくるようなまちづくりを進めてほしい。団地内で、戸建てと集合住宅の住み替えサイクルを実現していく。
- ・JR北広島駅周辺の商業施設や公共施設の充実、みんなが集まれる西口公園の再整備を進め、市の顔づくりを進めてほしい。
- ・農村景観を守るためにも休耕田を借り上げ市民農園として活用したい。また、地元の農作物を市民に知ってもらう、道の駅などでPRを行いたい。
- ・地域別の年齢別人口を考え必要な施設をつくることが重要。また、完成後の利用のしかたをみんなで考えたい。

都市交通

- ・生活道路の通り抜け車輛をなくしたい。団地の中央通りは植樹帯を大きくして、センスの良い花壇をつくっていききたい。
- ・体の不自由な人でも利用しやすい道路を整備してほしい。また、通勤や通学、買い物などに自転車を使いやすいようにし、将来的には自動車を減らし、自転車のまちにしていきたい。

緑・水環境

- ・緑を残し、市民全体で植樹を行い、緑のまち北広島市として発展させたい。中の沢通の道路拡幅の際、既存の木桜、コブシを残してほしい。
- ・子どもから高齢者まで、みんなによく利用される公園にしていきたい。レクの森はアスレチックの更新、駐車場の整備、家族みんなで楽しめる公園として整備を進めてほしい。緑葉公園は遊歩道、フラワーガーデンをつくってほしい。その他、自転車公園、花見ができる公園、スポーツができる公園などをつくってほしい。
- ・輪厚川、十線川、音江別川などの川をもっときれいにし、交流の場として利用したい。河畔林の重要性を市民にアピールし、河畔林を増やしていきたい。

都市景観

- ・街並みの統一感や花づくりにより個性をつくっていききたい。高齢化が進んでいるので若者を意識した街並みにしていく。
- ・自然景観を守る場所をあらかじめ定めて、景観づくりを進めてほしい。美しい景観を結ぶサイクリングロードの整備、周辺都市との境界における植樹による緑の交流、中の沢の桜、コブシを残したい。

その他

- ・団地は人口が減少し、高齢化が進んでいるので、総合病院や福祉住宅を整備してほしい。また、学童保育の充実など子育てをしやすいまちにしてほしい。
- ・学校の空き教室をうまく利用してほしい。
- ・人の集まる場所がないので、住民センターを大きくし、気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・市民をもっとまちづくりに参加させてほしい。市民としては、何でも市役所にまかせるのはやめて、市民と行政の協働の仕組みを考えていきたい。
- ・まちづくりについては、ソフトとハードの両面から考える必要がある。

2. 東部地区

市民ワークショップ会議より

土地利用

- ・人口の増加に対応できるリザーブ用地を用意してほしい。
- ・お年寄りが気軽に買い物に行ける商店が住宅地の近くにほしい。空き店舗が増えてきており、保育所として利用するなど空き店舗の活用を進めてほしい。
- ・工業団地に緑化を進めるよう強く指導してほしい。
- ・農家、農地をこれ以上減らしたくないので空いている農地を市民に貸し出してほしい。農業者、商業者、消費者が協力し、地元の農作物を売る場をつくってほしい。

都市交通

- ・道道江別恵庭線は歩行者が危険なため、歩道の拡幅、制限速度を下げる、バイパス化する、高齢者用信号を設置するなどを検討してほしい。JR北広島駅の拠点性を高め、主要な公共施設をネットワークするようなバス路線をつくってほしい。
- ・住宅地の中の小さな道路の狭い歩道は使いづらい。側溝に蓋をつけるなど安全な生活道路にしてほしい。
- ・まち全体のバリアフリーを進めてほしい。札幌と北広島を結ぶサイクリングロード、また恵庭、千歳、苫小牧まで結ぶサイクリングロードを整備してほしい。

緑・水環境

- ・中の沢の環境を守るため産廃施設をつくらせないことが重要。学校を中心としたリサイクルを充実したい。
- ・地区住民の交流が図れるような場所に、多目的に利用できる公園がほしい。総合運動公園をつくる時には市民の意見を良く聞いて市民参加の計画づくりを進めてほしい。あたらしい住宅地にも公園を整備してほしい。レクの森は自然環境を守るための具体的な対策を進め、バスや自動車で行きやすくしてほしい。
- ・輪厚川は花見のできる桜並木のネットワーク、あずまや、トイレなどをつくってほしい。川の掃除や花を植えることは住民ができる。

都市防災

- ・河川の堤防の強度を高めてほしい。バリアフリーだけでなく、住宅地の雪道対策を充実してほしい。

その他

- ・デイサービスセンターやグループホームなど地域で自活できる環境をつくってほしい。また、託児施設、保育所の確保を進め、子育てがしやすい地域づくりをしてほしい。
- ・学校の空き教室の利用、赤米の歴史資料館、開拓資料館などをつくる、文化ホールの活用内容の検討など、地域の歴史、文化を大切にしていきたい。
- ・みんなが集まれるお祭り、イベントができる野外広場、市民活動で気軽に集える集会施設、児童館と高齢者コミュニティ施設の併設など交流の場となる地域づくりをしてほしい。

3. 大曲地区

市民ワークショップ会議より

土地利用

- ・古い団地と新しい団地で差が出てきている。建売であっても画一的なものではなく、住宅地としての個性をつくっていききたい。市街化区域は地区の将来を見すえて認可してほしい。
- ・羊ヶ丘通の沿道は大型店舗の商業地としてほしい。車を利用できなくなる高齢化を考えると住宅の近くに歩いていける商店が必要となるので、見て歩くだけで楽しい散歩道のある地元商店街をつくってほしい。コミュニケーションの場として喫茶店、レストランがほしい。
- ・大曲工業団地は現状で止めてほしい。コミュニティセンター予定地の向かい側にある工場を移転してほしい。住宅地と工業団地が混在しており、今ある緑を残すことが大切である。
- ・団地の近くにある農地を市民農園として有効活用したい。地元で野菜が取れても手に入らないので、直売所があると良い。
- ・コミュニティセンターを中心としたまちづくりをしてほしい。大曲地区の中心は、将来とも大曲出張所、大曲会館の周辺にしてほしい。

都市交通

- ・コミュニティセンターやふれあいプラザ、医療機関などに行く小さなバスがほしい。また、これからも人口が増えるまちなのでJR北広島駅に気軽に行けるように交通の便をよくしてほしい。
- ・いちい保育園、柏葉台のあたりは通過交通が多く危険であるため、抜け道を減らす、歩道の充実など安全な通学路をつくる、通り抜け禁止の看板を立てる、信号機をつけるなどの安全対策を検討してほしい。
- ・大曲地区の全体をつなぐ並木道のある遊歩道がほしい。また、サイクリングロードを整備してほしい。

緑・水環境

- ・大曲地区には緑が少ないので植林をし、緑はできるだけ残していきたい。東小学校うらの森は、自然教育に利用できる森として、安全対策を考えながら保全していきたい。市街化調整区域の森林の保全をどのように担保するのか検討してほしい。
- ・自然を利用し散策やハイキングができる公園、屋外ステージがあり老若男女が楽しめる交流の場となる公園があると良い。また、住宅地の小公園を集約して大きくしてほしい。市内にはいろいろな所に公園があるので公園マップがあると良い。
- ・中の沢川をきれいにし、河川敷の緑化、遊歩道の整備など水辺の空間がほしい。大曲川沿いにも散策路がほしい。
- ・雨水等の下水処理を行い、まず川をきれいにしてほしい。
- ・大曲通沿いの産廃処理場をなんとかしてほしい。大曲工業団地の有害な廃棄物を撤去すべきである。

都市景観

- ・花いっぱい運動により統一感のある景観を考えていきたい。国道、道道の街路樹の緑化、余分な看板の除去、ライトアップなどを進めてほしい。工業団地の緑化を進めてほしい。また、旧島松駅通所周辺は建物だけでなく、軟石を生かすなど、一体的に整備した方がよい。

都市防災

- ・通学路の除雪を充実し道幅を広くしてほしい。また、各町内に融雪槽をつくってほしい。

その他

- ・高齢社会を向かえ、小さいながらも総合病院がほしい。また、スーパー銭湯付きのグループホームなど福祉施設がほしい。
- ・大曲の歴史を資料に残し、歴史資料館や青少年科学館、文化会館などを建設し、文化の発信地になりたい。
- ・人と話や相談ができる温かいまちが良いので、大人と子どもが交流でき、体の不自由な人も利用でき、気軽に入れるコミュニティセンターにしてほしい。
- ・お年寄りから幼児までコミュニケーションがとれるような温水プール、ジムなどをつくってほしい。

4. 西部地区

市民ワークショップ会議より

土地利用

- ・60～70歳の方が生活しやすいまちをめざし、学校を中心として病院やお店などがある、緑に囲まれた快適な市街地をつくってほしい。
- ・日常生活に必要なものが手に入る商店がほしい。
- ・野菜の産地として名のある地区であるので、地場の野菜に関心を持ってもらい、農業に活力を与えてほしい。

都市交通

- ・JR北広島駅とのネットワークを充実してほしい。また、小学校の跡地をバスターミナル、道の駅などに活用してほしい。
- ・安全な道路、通学路、冬でも歩きやすい歩道を整備してほしい。
- ・自然を生かした遊歩道、河川を利用したサイクリングロード、散策路を整備してほしい。

緑・水環境

- ・土取りが行われており、土取りの後、緑の再生を進めてほしい。
- ・高齢者から子どもまで利用できる公園や広場、砂川ハイウェイオアシスやレクの森のような大きな公園を整備してほしい。旧島松駅通所の池がよどんでいるので、きれいにしてほしい。
- ・生活排水が流れてくるので、住宅地の下水道整備を進めてほしい。
- ・少し奥地になると廃車やゴミが非常に多いので、きれいにしてほしい。

都市景観

- ・緑に恵まれた地区ではあるが、もう少し管理する必要がある。

都市防災

- ・消防体制の充実、除雪の充実など防災対策を考えてほしい。

その他

- ・高齢者が気軽にに行ける場所を作ってほしい。
- ・学校を中心としたまちづくりを進め、将来は空き教室が出てきたら、有効に利用したい。また、旧島松駅通所を残していきたい。
- ・農民研修センターがあるが狭いので、学校と併設したコミュニティ施設を整備してほしい。
- ・老後の体力づくりのため市民プールを整備してほしい。
- ・地元で雇用の場が必要である。

5. 西の里地区

市民ワークショップ会議より

土地利用

- ・団地の再構築を考えたい。緑を守り住民の健康により住宅地づくりを示したい。西の里会館とJR線の間は木を残した住宅地とし、公園や並木道を合わせてつくってほしい。
- ・お年寄りが住みやすいように商店街を誘致したい。1つのお店ができることで若者と高齢者のふれ合いができる。通過客も取り込める国道274号の沿道に新鮮で安心できる食品の店、衣類を含めて品揃えの多い店、喫茶店やレストランなどがほしい。
- ・子どもたちが西の里に残るように事務所などの業務施設が国道沿道にあった方がよい。
- ・道の駅をつくり、農産物の直販をしてほしい。
- ・西の里会館と国道の間の市有地を有効に活用し、地区のシンボル地区にしてほしい。

都市交通

- ・JR上野幌駅へのバスターミナルの設置、野幌川を生かした緑地公園、イベントや祭りのできる広場など、JR上野幌駅周辺の計画的な開発を進めてほしい。
- ・中央通の交通量が増大していることから、ランプ（走行速度抑制策の一つで、道路の一部をこぶ状に隆起させる方法）をつくる、信号をつける、制限速度を下げるなど思い切った対策をモデル的に打ち出してほしい。
- ・老人や障がい者が安心して歩くことができるように段差のない歩道を整備してほしい。また、自転車道路は年次を決めて整備を進めてほしい。

緑・水環境

- ・今ある緑の保全を図るため、残された山林が乱開発されないように市と住民が連携してパトロールしていきたい。
- ・資材置き場に替わった農地や山林、産廃施設があちこちにあり、環境問題、汚染が心配であるので、産廃施設のあり方について検討してほしい。
- ・レクの森から西の里への自然散策路を整備してほしい。虹ヶ丘公園の貯水池をきれいに有効に活用したい。西の里公園を多くの人に利用してもらえるようにしたい。レクの森に行きやすいように駐車場を増やしてほしい。
- ・広栄地区の下水道を完備してほしい。

都市景観

- ・花いっぱい運動により各戸で花を植える、住宅の壁の色を統一する、道路からセットバックして住宅を建てる、街灯や歩道をデザイン化する、西の里のシンボルを立てるなど街並みを考えていきたい。
- ・田園景観にはすばらしいものがあるので、国道274号沿いの建物を規制して背景を守る、市街化調整区域のゴミや産廃、廃車などをきれいにする、JR上野幌駅前の川を景観の良い川にするなどにより、景観を生かしたまちにしたい。

都市防災

- ・雪捨て場を確保するため団地内に小公園をつくる、融雪槽を各戸で設けるなど雪対策を進めてほしい。また、西の里会館の周辺に地域防災施設・地域防犯施設をつくってほしい。

その他

- ・お年寄りが住みやすいように病院や福祉施設を誘致し、特色あるまちづくりを進めてほしい。また、学童保育や保育園など子育てしやすい環境をつくってほしい。
- ・子どもたちが安心して育つように子どもたちを大切にすまちづくりを進めてほしい。また、文化性を大切にす道の駅を創設したい。
- ・子どもと高齢者がいっしょに活動できる施設として、西の里会館の拡大、多目的な広場やセンターを考えてほしい。